

環境マネジメントシステム導入報告書

(宛先) 京都府知事	年 月 日
住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地） 大阪府池田市ダイハツ町1番1号	氏名（法人にあっては、名称及び代表者の氏名） ダイハツ工業株式会社 取締役社長 伊奈 功一

環境マネジメントシステムの名称	ISO14001
適用範囲	ダイハツ工業株式会社 京都工場
導入年月日	平成10年 9月30日
認証番号	JAER0044
基本方針	我々は天王山の豊かな緑と、淀川水系の清らかな流れを次世代へ引き継ぐため、環境保全に取組み地域から愛される工場づくりに努めます。
環境に配慮した事業活動を自主的に進めていくための目標（以下「目標」という。）	<p>'2010年度までの目標</p> <p>CO2排出量（総排出量） : 1990年度比10%削減</p> <p>CO2排出量（原単位） : 出荷額当り原単位を1%改善</p> <p>焼却廃棄物量（総排出量） : 1990年度比5分の1以下に削減</p>
目標を達成するための取組の内容	<p>CO2排出量</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生産ラインの集約によるエネルギーロス低減 等 <p>廃棄物発生量</p> <ul style="list-style-type: none"> ・廃棄物の売却化、仕損品の低減 等
目標を達成するための取組の進捗状況	<p>CO2排出量</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生産ラインの集約によるエネルギーロス低減を実施 <p>廃棄物発生量</p> <ul style="list-style-type: none"> ・廃棄物の売却化、仕損品の低減を実施
目標を達成するための取組の成果及び当該成果に対する評価	CO2排出量については、総量は達成したが、原単位については出荷額減少により未達であった。しかし、生産ライン集約等削減への取組みは計画的に実施できており、一定の成果も得られている。また産業廃棄物については、目標を達成できている。
事業活動に係る法令の遵守の状況	関連法規の順守状況について、1回/年の確認を行っている。これまで、違反及び行政からの指摘はない。
環境マネジメントシステムの評価及び見直しの内容	<p>EMSの評価・見直しについては、年度末に実施している。</p> <p>'10年度は、現行の目標及び取組み内容により、一定の成果が見られており、システムに問題はない。</p> <p>'11年度も継続し、レベルを上げたシステム改善を実施。</p>

注 認証番号の欄は、導入した環境マネジメントシステムの内容について第三者の認証を受けている場合のみ記入してください。